

## ヤマトオサガニの繁殖

### ■小型のヤマトオサガニ

今回の調査ではイシガレイの稚魚を採集することはできなかった。成長したイシガレイは外海へ移動したのであろう。

気温が高くなり、活発に活動するカニ類の姿が見られた。砂地では多くのコメツキガニが見られたが、甲幅3mm程の小型の個体 (Fig.1) も数多く観察された。

潟湖は泥地が多く、ヤマトオサガニ (Fig.2,3) や鮮やかな青色が目立つヤチゴガニ (Fig.4), アシハラガニが観察された。ヤマトオサガニは小型の個体も見られ干潟で繁殖していることがうかがわれる。日和山近くの泥地でも多くのカニ類が観察された (Fig.5)。橋脚周辺ではケフサイソガニ (Fig.6) が観察された。



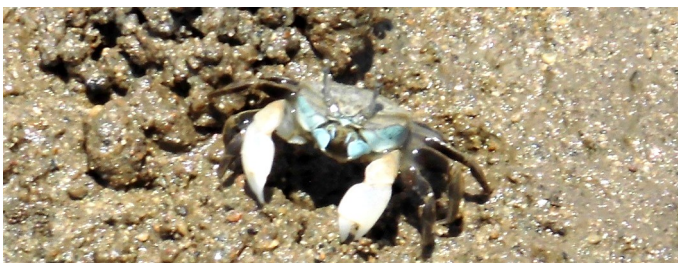
(Fig.1 コメツキガニ)



(Fig.2 小型のヤマトオサガニ)



(Fig.3 大型のヤマトオサガニ)



(Fig.4 チゴガニ)



(Fig.6 ケフサイソガニ)



(Fig.5 日和山近くの泥地)